

地元とともに、未来を。

『未来に誇れる日本』は、日々の暮らしに目を向けることから始まります。長年の政治経験と政府与党の一員としての実行力を最大限に活かし、地域の皆さまの声に真摯に耳を傾け、子育て支援や高齢者対策、社会インフラ整備などの課題に積極的に取り組んでまいりました。府中市・多摩市・稲城市の魅力さをさらに高め、『未来に誇れる地域』をとともに築いてまいりましょう。

東京都のど真ん中、多摩川を挟んだ3市で構成されているのが、令和3年の公職選挙法改正で新設された私の選挙区(東京30区)です。府中市に越してから早5年が経ち、多摩市と稲城市で活動を始めて一年半です。この間、地域の皆さまに支えていただき、とことんコツコツ活動を重ねていくことができました。

府中市制施行70周年と米軍基地跡地活用へ ～多摩川氾濫対策と安全保障の要として～

府中市は、本年市制施行70周年を迎え、4月の記念式典も大國魂神社くらやみ祭りの大太鼓やお囃子で幕を開け、飛鳥時代以来の武蔵国国府としての歴史の重みを再認識



故・鈴木きんじ都議と大丸用水堰工事現場を視察

しました。その府中市および対岸の多摩市と稲城市は、集中豪雨などの際には多摩川の氾濫にさらされる危険を共有しています。そのため、私は、着任早々、多摩川の水位を下げるため大丸用水堰の撤去解体工事を促進する予算付けのお手伝いをさせていただきました。府中市には航空自衛隊基地もあり、宇宙作戦群は我が国の安全保障の要です。



返還された米軍通信施設跡地の電波塔を視察

また、この府中基地に隣接する広大なエリアが、3年前ようやく在日米軍から我が国へ全面返還されました。これはひとえに地元の皆さまの長年のご努力の賜物ですが、防衛省や在日米軍に対し早期返還を働きかけてきた私としては、感無量です。さらに、府中市における基地跡地の利活用を全力でサポートしてまいります。

多摩ニュータウン再生とアニメ・コンテンツの聖地 ～住民高齢化への対応と地域産業の未来～

多摩市の南部に広がる多摩ニュータウンは、1970年代初頭から整備が進められましたが、現在では老朽化や住民の高齢化が顕著となっており、再生事業は国や東京都にとって待ったなしの課題です。6月には、地元のこいそ都議や市議団と共に永山団地を視察し、再生事業促進を改めて決意しました。また、多摩市には



こいそ明都議と共に多摩NT永山団地を視察



せいせき桜祭りで満開の桜並木をパレード

ハローキティで有名なサンリオや、日本アニメーションの本社があるなど、日本が世界に誇るアニメ・コンテンツ文化の聖地の一つです。交通網整備などハード事業と共に、ソフト産業の誘致育成に全力を挙げてまいります。また、多摩市がいち早く参入を決めた「子ども誰でも通園制度」のモデル事業を推進するため緊密に連携してまいります。



緑と梨の街・子育て世代を惹きつける稲城市 ～増え続ける人口と南多摩尾根幹線道路の拡幅～



稲城名産の梨の農家で栽培にかかる苦労話を伺う

ニュータウンの開発を慎重に進めてきた稲城市では、豊かな緑を残しつつ区画整理が進み、年々子育て世代の転入が増えて人口増加が続いています。そして(府中市や多摩市に続いて)実施に踏み切った小中学校の給食無償化は、稲城の子育て世帯にとって朗報となり、こども政策に力を入れてきた私にとって働きがいのある街です。また、稲城市では梨農業が盛んです。幻の梨「稲城」は大きく甘味たっぷりで瑞々しく、一度は食べてみたいと評判で、これからも都市農業推進議連の一員として支援していきます。

さらに、ハード面では、長年の課題となっている南多摩尾根幹線道路の整備拡幅を加速し、慢性的な交通渋滞や沿道環境の改善を実現するため、こいそ明都議と共に全力で取り組んでまいります。

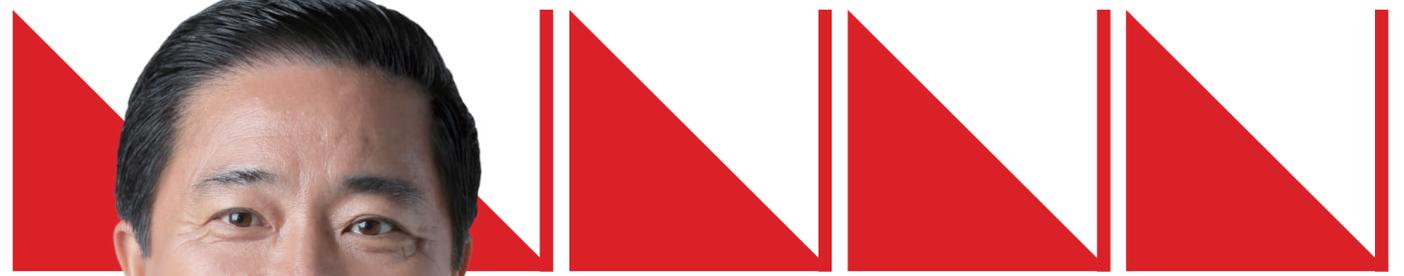


歳末警戒にあたる消防団の皆さまへ感謝!

ここ数年、お国替えと区割り変更の険しい道を歩んできましたが、辿り着いた選挙区がこのような自然豊かで人情味にあふれた街であることに感謝し、地域発展のために全身全霊を捧げてまいります。

未来に誇れる日本へ!

2003年の初当選以来、一貫して掲げてきた理念、それが『未来に誇れる日本』です。どんな困難にも直面するたびに、『未来に誇れる選択とは何か』を自問し、責任を持って決断してきました。今、日本は大きな転換期を迎えています。これからの日本の行方を左右する重要な年となる2024年。未来の世代が誇りに思える年となるかは、私たちの選択にかかっています。



衆議院議員 東京30区 府中市・多摩市・稲城市

長島 昭久

ながしま あきひさ

政治とカネに決着をつける!

私は、「裏金」とは一切関係ありません。しかし、政治とカネの問題は自民党の古い体質を抉り出しました。したがって、党の体質を一新する責任は私たち一人ひとりにあります。裏金問題を根絶するためには、「非課税となっている政治資金の収支は全て公開する(公開できないカネは政治資

金と認められず課税対象とする)」という徹底した透明性を確立すべきです。先の総裁選挙を通じて、政策活動費や旧文通費の全面公開の道筋が示されましたが、二度と政治とカネの問題で国民の政治不信を招くことのないよう、真の改革を推進してまいります。

長島昭久プロフィール

志高くアメリカへ武者修行



- 昭和37年生まれ(寅年)
- 慶應義塾大学大学院で法学修士号(憲法学)取得
- 米国ジョージア・ホプキンス大学で国際関係と国際経済の修士号取得
- 米国最高権威のシンクタンク外交問題評議会研究員◀日本人初
- 中央大学大学院客員教授

外交・安全保障のスペシャリストとして



- 防衛副大臣、防衛大臣政務官、内閣総理大臣補佐官(外交・安全保障担当)を歴任
- 衆議院安全保障委員会、拉致問題対策特別委員会委員を歴任
- 日本戦略研究フォーラム主催の台湾海峡危機シミュレーションに4年連続で参加
- 現在、超党派「新しい安全保障を考える会」や日米友好議員連盟で事務局長、日華議員懇談会副会長、自衛隊施設強化促進議員連盟会長代行

[現在の役職]

自由民主党・衆議院議員7期目
内閣総理大臣補佐官(外交・安全保障担当)

- 日本スケート連盟会長
- 東京都軟式野球連携会長
- 東京都スケート連盟名誉会長
- 東京都銃剣道連盟会長
- むさし府中リトルシニア協会理事長
- 日本スポーツ協会参与

「こどもの未来保障」で、子育て支援に全力



- 自民党「児童虐待防止特命委員会」副会長
- 「児童の養護とこどもの未来を守る議員連盟」会長
- 「子どもの貧困対策推進議員連盟」事務局長
- 「子ども宅食推進議員連盟」事務局長
- 衆院文部科学委員会筆頭理事などを歴任

日々の活動WEBで公開中!!

後援会へのご入会、お待ちしております!



長島昭久事務所 TEL:042-319-2118
info@nagashima21.net
東京都府中市宮西町 4-12-11 モア府中 2F
https://nagashima30.com

討議資料

外交・安全保障

私たちは今、戦後最も厳しい安全保障環境に直面しています。ウクライナ戦争や中東ガザ地区での紛争に加え、我が国の周辺でも、北朝鮮の核とミサイルの脅威や中国による巨大な軍事力を背景にした一方的な現状変更が常態化し、中露による領空や領海侵犯も頻発しています。

このような厳しい現実を直視し、我が国の平和と安全、地域の安定と繁栄を確保するためには、正しい現状認識に基づく「確かな抑止力」の構築と、日米同盟を中核とした同志国との緊密な連携が不可欠です。その上で、中国との関係を安定化させ、できる限り相互不信を取り除く現実的で戦略的な外交を展開するのです。

「国際政治をリードできる政治家」を志して40年余。これまで培った経験と知見、世界に広がる人的ネットワークを駆使して、我が国の平和と安全、主権と領土、領空、領海を守り抜いてまいります。

【実績】 政策を進める力！

- 党の政務調査会副会長（国防・安全保障担当）として、安保3文書策定に携わる。
- 民間シンクタンク主催の「台湾海峡危機政策シミュレーション」に4回連続で参加し、得られた知見に基づき月刊誌『正論』に政策提言。
- 超党派議連（日米、日豪、日台、日韓、日印、日蒙、および安全保障、人権外交、核軍縮など）の役員として、議員外交を積極的に推進。
- 防衛産業技術基盤の強化、防衛装備品の海外移転を促進するため、議連役員として政府と産業界の連携を支援。
- 防衛施設強靱化を推進するため、議連役員として政府と民間企業の連携を支援。



経済・財政

日本経済は、今やGDPは600兆円を超え、活況を呈する半導体産業など国内投資も100兆円に達し、ようやく成長軌道に乗りつつあります。大手企業を中心に物価高を上回る賃上げが実現するなど、足元の経済状況も改善の兆しがあります。

しかし、30年続いたデフレからの完全脱却は、なお果たされていません。とくに、人手不足や資材価格の高騰に加え、働き方改革と賃上げ圧力が同時にかかっている中小小規模事業者への支援は急務です。

最大のネックとなっていた「価格転嫁」を構造的に進めるため、私は党の中小企業調査会副会長として下請法の抜本的改正を岸田総理に提言しました。依然としてデフレ圧力が残り、本来マイナスであるべき企業の貯蓄率が現在もプラス（つまり投資が鈍い状況）が続いており、**日銀の金融緩和政策と政府の積極財政を当面維持**していくことを新政権にも強く求めます。

七転八起 二歩前進!!

なんと転んだことか…
そのたびに多くの人に支えられ、
押し上げられ、長島の根っこは
確実に動ぶくなってきました。
すべては「未来に誇れる日本」のために。

2003年の初当選以来、20年余にわたり一貫して掲げてきた理念。それが「未来に誇れる日本」です。

二大政党による競争の政治をめざして民主党からスタート。防衛副大臣として政権を担い、紆余曲折を経て自民党に転じ、現在東京30区（府中市・多摩市・稲城市）の衆議院議員として7期目。

幾度も転びながら、常に「未来に誇れる日本」をめざし、起き上がり、前を見続けて来られたのも、多くの方々のご支援と、志を同じくする仲間なくしてあり得ません。

現在、自民党は「転」機にあります。しかし、日本を取り巻く状況は厳しさを増しており、転んだままではいられない。猶予などありません。

政治改革を断行し、自民党の古い体質を一扫して国民の信頼を取り戻し、成長を阻む規制を撤廃して日本の国力を一気に引き上げなければなりません。

ピンチはチャンス。

私の専門分野である「外交・安全保障」や「こどもの未来保障」を中心に、危機を乗り越え、強く優しい日本、すなわち「未来に誇れる日本」の実現に向け、一步、また一步、日本を前進させてまいります。

憲法改正・ 皇室継承

憲法は国家の基本法であり、天皇・皇室は国柄の根本です。前者は、時代の変化に合わせてアップデートする必要がありますが、後者は、我が国の歴史と伝統に則り将来にわたり守り通していかなければなりません。



こどもたちの
未来のために今！



未来に誇れる日本へ！

こどもの未来保障

こどもや若者が希望を持っていない社会に未来はありません。そこで、私は「未来保障」を掲げて政策実現に邁進してきました。

結婚や出産、子育ての希望を諦めることのないよう、「三つのゼロ」／①妊娠・出産の無償化でコストをゼロに、②日本版「ネウボラ」※の導入で子育ての不安やリスクをゼロに、③「こども誰でも通園制度」の確立で子育てのストレスをゼロに／を実現します。これらにより、子育て家庭のリスクを早期に発見し専門的な支援につなげる体制を確立し、児童虐待や貧困の連鎖を根絶します。

また、高校までの教育費を無償化し、大学奨学金の出世払い制度（HECS）を導入し、地方大学を拠点としたリスキリング支援体制を充実させ「いつでも誰でも何度でも学び直し、働き直せる環境」を整備して、次代を担う若者が希望をもって人生を歩める道筋を確かなものとしていきます。

※ネウボラとは、妊娠から幼児期まで、かかりつけの保健師が子育て家族全員の健康チェックを通じて、あらゆる異変を早期に発見し専門的支援につなげる仕組み。

【実績】 法律を変える力！

- 虐待を受けたこども達の命と健康を守り、逆境体験に苦しむこどもを救い家庭的な愛着関係を保障する「家庭養育原則」を徹底するため、こども家庭庁の都道府県に対する「社会的養育推進計画」の改正を実現。
- 児童福祉法を改正し、若者支援のため社会的養護の措置延長やこども家庭福祉の担い手の専門性強化を実現。
- こどもの貧困対策推進法を「貧困解消」法に改正を実現。
- こども食堂では手の届かない困窮する子育て家庭へのアウトリーチを促進するため、こどもの見守り事業の一環として「こども宅食」への支援の仕組みを創設。
- こども食堂やこども宅食に対し、政府備蓄米の活用拡大を実現。



技術革新・エネルギー

日本が熾烈な国際競争に勝ち抜き繁栄を維持するためには、国力の再構築が急務です。そのために、半導体やAI、バイオ、航空宇宙、ブルーエコノミーなどといった新産業領域の技術革新を加速させます。

デジタル社会を構築するためには、ワット・ビット連携（電力系統と通信基盤の一体的整備）が不可欠ですが、同時に省電力化のために光電融合技術の普及を促進します。また、安定的な電力供給を確立するには、安全が確認された原発の再稼働や増設が必要です。さらに、プルトニウムもウランも不要で高レベル放射性廃棄物の出ない「核融合炉」の早期実装をめざします。

また、中国依存のEVに偏るのではなく、水と二酸化炭素を融合させる脱炭素燃料（e-fuel）の開発を促進し、電動化や水素化の困難な大型車やジェット機、そして既存の自動車産業やインフラを活かしながら、世界経済をリードしていきます。

長島昭久
奮闘記
公開中



ホームページへ